

令和5年7月29日

作成：風早北部地域ふるさと協議会

防犯防災部長：古山博之

令和5年度第2回防災活動に関する意見交換会 会議冒頭の部長あいさつ

前回（5月27日）会議では、私からは梅雨入りの季節も間もなく訪れる・・・との発言でしたが、その梅雨も明け、これからは本格的な台風シーズンを迎えます。毎年、梅雨明け時には日本各地で大雨や突風被害が発生しており、人的な犠牲も現れています。それを他人事と捉えず、いずれ自分の地域や自分の家に迫ってくることを想定する、そして備える姿勢が大切です。

さて、先月24日には、防災講習会を開催し、災害時の避難行動を学ぶと題した内容で、机上での学習を行いました。ここで学んだことも、是非本日以降で行います、この秋の地域一斉防災訓練に向けた検討の題材にして頂けますと幸いです。

本日、配付資料には防災ネットワーク通信第69号、第70号の原稿案を提示させていただきました。本原稿は来月の役員会で了承を得て、当会ホームページでご案内する予定ですが、この中でも触れております通り、今期の大きな目標として、公助、即ち柏市の防災行政に私たちは極力頼らず、地域内住民による自己完結を基本に災害に対応していくことが可能な地域醸成を目指し、具体的な行動を起こしていくこととしています。大きな災害が一旦発生した場合、公助を当てにする姿勢にこそ大きなリスクが内在していることを是非ご理解いただき、市には有事に極力頼らない体制やルール、しくみの構築が、自分達の命を守る最良の選択であることを皆さんに訴えさせていただきます。

本日より、この会場レイアウトからもお分かりのように、会議後半では各小中学校避難所別に協議を行っていただき、今期においては、いつ何を行うかにつき、ある程度決定をお願いします。本日の会議に出席していない手賀の杜自治会は、既に11月5日の訓練に実施にむけ、個別に避難所の沼南高校との協議が開始されています。

なお、訓練を実施しないことの選択肢もやむを得ないですが何もしないことで、そのしっぺ返しを有事に受け止めざるを得ないのも皆さん方やその周辺住

民の皆さんであることも、念頭に是非、主体性と深慮をもって今期活動を決めて頂きますよう、お願いします。

あいさつの最後に、最近も車両盗難事案が千葉県内で増加傾向です（配布紙面参照）。当会では、警察関係者のご協力を得て、今期上半期の車両盗難事案を特集したニュースも近々に発表いたしますが、防犯の基本は住民個々の普段の部班意識にありますので、皆さま役員の方々からも、防災だけでなく防犯意識の高揚についても、是非配意をお願い申し上げます。

以 上